

2015年2月号

国際会長主題	「言葉より行動を」 "Talk Less, Do More"	Isaac Palathinkal (India)
スローガン	「今すぐやろう」 "Do it now"	
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 "Start Future Now"	岡野 泰和 (大阪土佐堀)
スローガン	「ひとつのアジア、世界はひとつ」 "One Asia One World"	
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」 "To walk together, echoing each other." 松本 武彦 (大阪西)	
スローガン	- こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく -	
九州部長主題	《あなたからわたしへ、わたしからあなたへ》 亀浦 正行 (熊本にし)	
		"Y's spirit, from you to me and from me to you for generations!"

熊本クラブ会長主題 温故知新 -歴史を知り、再活性化へ-

吉本 貞一郎

強調月間

TOF
CS
FF

身近なボランティア、献金にご協力をお願いいたします。

地域奉仕・環境事業主任 渡壁 十郎 (長浜)

会長徒然

鹿児島クラブ 25周年に思う

会長 吉本 貞一郎

熊本・鹿児島中央 43分！ノンストップの新幹線「みづほ」は、八代を過ぎると車窓の風景は地下鉄のようなトンネル、その中を鹿児島へ到着しました。

25年前の鹿児島へのエクステンションや14年前の第4回西日本区大会の折は、九州の南西海岸を2時間以上、楽しみながらの列車の旅でした。また、25年前の高速道路は人吉・えびの間がつながっておらず、ループ橋を通っての加久藤峠でした。

当時、朝比奈ワイズとメネットは、鹿児島に新クラブをチャーターするために、毎月、足を運ばれていらっしゃいました。大変多くの時間を割いての活動でした。その思いは、鹿児島クラブ四半世紀の活動によってYMCAを鹿児島の地に誕生させ、地域の青少年に夢を与え育む活動につながっていると言えるでしょう。きっと、朝比奈ワイズは喜んでいらっしゃると思います。

【今月の聖句】

「空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもない。だが、あなたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値のあるものではないか。」

マタイによる福音書 6章 26節

私たちはときに大きな不安に包まれるときがあります。それは現代社会において、人によって様々でしょう。そんなとき、この聖句を読むと安心感に癒されます。神様の存在を意識し、神様の御恵みに感謝し、神様に身をゆだねることで、私たちは勇気をもらえる気がするのです。 (藤川 登士郎)



21世紀最初の西日本区大会が鹿児島で開催され、この地で奈良 傳賞が朝比奈ワイズに贈られたことは、私にとっても大きな思い出となっています。

(有志による)新年会では、私たち熊本クラブをあらためて見直す機会が与えられました。クラブを変えていくのは、私たちの活動しかないので。朝比奈ワイズをはじめ先輩ワイズのDNAをクラブとして持ち続けたいものです。

ところで、熊本クラブで目指すイメージは、「みづほ」ではなく「ななつ星」でしょうか。

有志の会（特別例会/新年会）に参加して

大 村 豊

1月22日（木）、定刻の午後7時ではなく、午後7時10分ころから、市役所14階のダイニングカフェ「彩」で、合計13名が参加して、特別例会が行われました。有志の会といつても、要は飲みたいメンバーが集まつたというものです。お世話役と司会は今村ワイズです。

当日は、霧雨の小雨の日でしたが、熊本城の東南の角度の高所からの眺望は、日頃見ることのない素晴らしいものでした。その視界は、坪井川、長堀、城内の敷地部分（お庭や通路など）、ライトアップされた天守閣など、豪壮雄大、男性的な熊本城の姿を楽しむことができました。

会場は、貸切り状態で、他にお客さんは全くいなかつたのです。食事を楽しんで会話を楽しむばかりで、特別なプログラムはありませんでしたが、愉快なものでした。



テーブルの東西で別々の話題で各々が盛り上がっていたのです。世間話ばかりでしたが、良い勉強ができました。

特別なプログラムはなかったと書きましたが、今村ワイズからは、2012年10月25日（木）の例会時の「ワイズ用語の解説」と「熊本クラブ自己評価」の資料に基づき、「例会のあり方」「人材育成」「財政面」「クラブ運営」についての分析、取り組みのコメントがありました。この時ばかりは、酔っていても全員かしこまって真面目にいろいろ考えていました。

そして、クラブの発展のために、各々のメンバーが出来ることを始めましょう、新しいメンバーをお誘いしましょう、という結論となりました。

記念撮影により、酔ったメンバーの様子がわかると思います。

酒癖の悪いメンバーがいたようですが、その氏名は内緒にしておきます。



新年会 by ワイズ有志

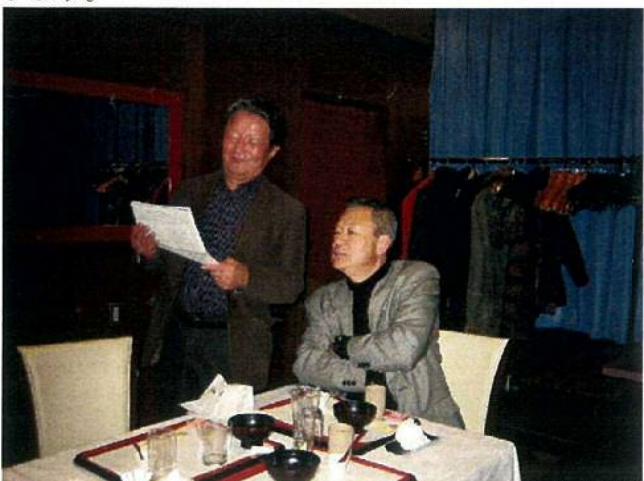
布 田 悟

この日は人間ドック（日帰）の日でした。昨年から1日ドックにしました。日赤病院や済生会病院での1泊2日ドックを長年続けてきましたが、余計（不必要）と思える様な検査やイベント（例、腹筋・背筋力競争、柔軟性・筋力検査、目つぶり片足立ち検査、体格測定、歯科検診、毎回同内容の生活習慣・食事内容聴聞、食前酒付自然食夕食と翌日のお別れ昼食会、大浴場入浴等）を削除したら、充分日帰り（午前9時～午後12時で検査、午後は1時～2時で検査発表）で良いと私は判断しました。

必要十分な検査は、胃の透視、大腸検査、肝機能・糖代謝等の血液検査、尿検査位でしょうか。ちなみに料金は1万5000円程（菊陽町の補助金付）で1泊2日の3分の1位でした。検査機関は健軍町の熊本県総合保険センターで余計な設備やサービスはなしですが充分満足できる内容であったと私は思いました。

前置きが大変ながくになりましたが本題に入ります。新年会の話ですが、場所は市役所の14階にあるレストランですが、夜はライトアップされた熊本城の夜景を楽しめるちょっとハイカラでリーズナブルな飲食店です。ワイズ組は20人程の貸切部屋で「飲み放題」付の和洋料理を堪能しました。

翌日のドック入りを忘れての夜11時過ぎまで飲み方をしての人間ドックでしたので、家内からは「馬鹿ばい！」の一言で送り出された次第です。検査結果は慢性胃炎で胃がんにツナガルというピロリ菌付、慢性脂肪肝、肝機能慢性少々悪化状態という結果でしたが一番気になったのは肺活量が平均値（70）以下で数年続いており、将来は酸素吸入が必要になる恐れありとの指摘を受けた事でした。確かに喉（気管支）がいつも詰まる感があり咳払いが日常的あります。



さて、新年会は今村ワイズによる熊本クラブ自己評価（平成24年作成）結果表参考に熊本クラブの現状を再認するミニ卓話がありました。それによれば財政面・クラブ運営について、事務例会のあり方は高評価ですが、人材育成とクラブ例会の在り方については低評価でした。確かに例会が充実しており楽しめる内容でないと入会者の滞り、若い人材も育たな

いでしょう。皆様それぞれの立場でワイズの活性化を目指し、会員拡大への取り組みをお願い致します。

最後になりますが、当日岡崎メンがおっしゃった言葉でとても心に残った言葉がありましたのでそれを紹介して新年会の報告と致します。

ワイズは私にとって、あの長崎の「出島」である！当日聞かれなかった皆様はその意味を岡崎源次ワイズにどうぞご確認くださいませ。



そして、私と張りで焼酎のお湯割りを重ね、場を盛り上げ愉快な宴会にして頂いた大村泰子メネット、その傍でニコニコと笑みを絶やさず、ぐっと堪えて愛妻のお話に耳を傾けておられた大村豊メンのご両人に最大級の敬意を贈りたいと思います。ああ！「仲良きことは美しきかな」。皆さん本年もどうぞ宜しく、健康で明るく楽しくやりましょう！



鹿児島クラブ 25周年記念例会に参加して

大 村 豊

平成 27 年 2 月 14 日 (土) バレンタインデーの日、私は、前日、事務所の 2 名の女性から 1 個チョコレートを貰いましたが、当日は、誰からも貰えないままでした。

寒い日でしたが、快晴の風のない温暖なお昼ころ、熊本駅改札口に、男性 3 名が集合し、1 時 25 分の「みづほ」で鹿児島に向けて出発しました。

車内では、吉本ワイズは、タブレットによる読書、堤ワイズはお昼寝、私は仕事の原稿書きをしながら、鹿児島駅に到着しました。男ばかりというのはなんと味気ないものでしょうか。おしゃべりをすることも全くありませんでした。

新幹線は、あっという間に鹿児島駅に着きました。入

佐ワイズ、守田ワイズ夫妻などと会うことができました。タクシーに乗ると 620 円で、余裕ある時間に会場のジェイドガーデンパレスに着くことができました。鹿児島クラブの例会場です。

開会前の鹿児島 YMCA 「ウィザーズ」 の 18 名の女子の小中学生のチアリーダーによるチアダンスには、その若さと迫力に圧倒されてしまいました。元気で声が若くて大きいのですから、又、その笑顔の集団には参って下さいました。

開会挨拶の松永会長からは、「夢がある」、鹿児島に「新しいクラブを作りたい」とのアピールがあつて、びっくりしました。是非実現して貰いたいですし、九州部の全クラブで応援したいですね。

参加者は、松本西日本区理事、高瀬前理事、亀浦九州部長など合計 58 名、鹿児島クラブは現在 14 名のメンバーです。設立時のメンバーは 41 名でした。

吉本会長からは、25 年前の朝比奈ワイズとメネットが毎月自動車に乗って準備例会に参加していたことなどが紹介されました。



記念講演は、西郷南洲顕彰館館長の高柳毅先生による「今、甦る、眞の西郷像」というものでしたが、征韓論と遺韓論という難しいお話で、少しコックリコックリと居眠りをしてしまいました。

懇親会では、殆どのメンバーに発言の機会が与えられました。鹿児島 YMCA をどう応援していくかなど悩みは多いのですが、ワイズの九州部全体であるいは、オール YMCA で取り組めば、発展できるはずだなと考えました。

帰路は、車中で「白くま」を充分に堪能しました。お土産はカルカンでした。早い時間に自宅に帰り着くことができました。





《スイングジャズバンド リトルチェリーズ》



《熊本クラブから参加の3迷?》

Yとワイズの交流懇談会

大 村 豊

平成27年1月27日(火)午後7時から、熊本中央YMCA2階のジェーンズホールで、ワイズとYMCAの交流懇談会兼第4回ワイズの熊本連絡会議が開催されました。

参加者は、ワイズの熊本県内の10のクラブから約28名、ワイズメンでもあるYMCAのスタッフ10名など、合計約48名でした。そのうち、ネクタイをした男性は3分の1程度でした。女性は、6名位です。

私は、約45分遅刻しての「こそこそ」と入室した参加者でした。熊本クラブは、吉本会長、藤川ワイズ、私の3名です。

二つの部屋を使って、対面方式での会議ですが、同じ側の遠方に誰がいるかはわかりにくいのですが、会議に相応しい座席配置です。

これだけの人数が揃うと、一般会員の私(直前会長ではあります)などは、発言の機会は全くありませんでした。

そして、YMCAの岡総事が、熊本YMCAの全般的な経営の目標や現状をお話したことにより、熊本YMCAの理解がすすみました。各クラブ会長のコメントにより、各クラブのプログラムやYMCAのプランとの関係など、参考となるものでした。又、4月の益城町での大きなプログラムの計画などが提案され、議論は盛り上がったようです。会議の終了後は、いつものように

飲みたいメンバーは、電車通りの居酒屋「けんちゃん」に向かったようです。

連絡会議に毎回参加することは大変ですから、時々の参加でよいのかなと考えました。又、役員でない一般のメンバーは1年に1回位参加するとよいと思います。よい刺激となります。

次回、連絡会議は3月24日(火)です

理事通信2月号

西日本区理事 松本 武彦



新年1月、区内各地で、新年祝会が例会を兼ねてもしくは例会とは別に、単独もしくは部合同などの合同形式で開催されています。新年祝会において、ワイズの仲間たちは、笑顔を浮かべて新年を寿ぐ言葉を交わし、食事を楽しみ、プログラムを楽しむことで、気持ちを新しくし、新しい年の活動を力強くスタートする機会を得ています。人が集う場において、音楽のあることは集う人々のこころを豊かにします。私が所属する中西部の合同新年祝会では、アメリカ南部で誕生し日本にも入ってきた「ブルーグラス音楽」が結成40周年を超えるメンバー全員が還暦前後と言う“おじさんバンド”、シャギー・マウンテン・ボーイズのみなさままで演奏されるプログラムがあり、会場全員で合唱する場面もあって、大いなる喜びと力を得ることができました。大阪湾南港のホテル・ハイアットリージェンシー大阪で6月に開催する第18回西日本区大会においても、楽しくてこころ温まる音楽演奏の場があり、加えて、ハワイアンダンスと一緒に楽しむ場面も予定しています。

私は、理事主題として「響き合い、ともに歩む」を掲げています。ワイズ活動においては、それぞれのクラブが自身の活動プログラムをもってYMCAや地域社会・国際社会への奉仕活動を進めますが、その活動が、1クラブや1個人だけの働きで進められるのではなく、この活動に周りの仲間が呼応し響き合うことで大きな力が生まれ、力強い奉仕活動となってゆきます。このようなことから、ワイズ活動において「会員交流」のプログラムがあること、特に、年齢の若い会員やワイズ歴の浅い会員同士のクラブを超えての交流があることも大切なことかと思います。彼らの視野を大きく広げる機会、ワイズ活動の楽しさを身近に知る機会が生まれるように思うからであります。このような会員交流について嬉しいニュースがあります。中西部において、昨年度、若手会員の集い、通称「わかってんの会」が立ち上げられ、頻繁に会合が開かれていますが、この若手会員の集いが、京都部の若手会員も交えた形で、京都でも開かれました。つまり、中西部の「わかってんの会」の活気が京都部の若手会員を交えた集まりにも及ぶ心強い動きが出てきました。

理事通信12月号では、我々の仲間二人の力強い社会的活動がテレビ番組に取り上げられ報道されたことを伝えましたが、本年1月15日発行の朝日新聞・大阪堺泉

州版においても、我々の仲間、大阪泉北クラブのメンバーである猪瀬正雄さんの切り絵創作家としての大震災被災地支援の働きが報道されています。猪瀬さんは、阪神・淡路大震災が起きた20年前、「神戸・異人館」の切り絵を印刷した絵はがきを販売してその収益を被災者支援に役立てられたのですが、現在、東日本大震災復興支援のための活動をする中で20年前のことを思い出し、当時の切り絵の絵はがきを復刻、被災者の姿を描いた作品も加えて4点1セット400円で販売し収益を東日本大震災被災支援に充てることにしたとの報道あります。

西日本区ネット国内事業支援先 決定

◇支援先

東海大学医学部 基礎医学系 生体防御領域
佐藤ユニット（佐藤 健人 准教授）

2月28日は、「世界希少・難治性疾患の日」です。

【YMCAだより】

連絡主事 藤川 登士郎

☆ 国際協力青少年育成年未募金、目標達成！

皆様の募金へのご協力に心より感謝致します。今年度目標額1,500万円に対し、1月31日付集計で、15,150,847円の尊い募金が寄せられました。全国のYMCAでもトップクラスの募金額です。2月13日（金）には中央YMCAレクホールにて感謝会が行われ、FD委員をはじめ多くのレイパースンと職員で喜びを分かち合い、次年度に向けてのリソースモビリゼーションの促進を誓い合いました。

☆ 益城町と指定管理としての協定書締結

2月12日（木）に益城町長と熊本YMCA会長が、総主事、副総主事の立ち会いの下、協定書に捺印を終えました。これで正式に4月からの運営がスタートします。

☆ 1月31日（土）よりスプリングキャンプ受付

早くも、春のキャンププログラムの受付がスタートしました。今年も多種多様なキャンププログラムが4つ用意され、好調な受付状況となっています。神様に守られ、子どもたちにとって最高の思い出となるキャンプとなることを祈ります。

☆ 合志市と包括協定を提携

2月25日（水）に熊本YMCAは合志市と包括協定を締きました。この包括協定とはウェルネス事業、語学教育事業、国際協力、人材育成、福祉教育事業などを積極的に活用し、幅広い分野にわたり地域社会の発展に貢献していくことを目的

としています。今後の合志市と熊本YMCAの連携による地域貢献に夢が広がります。

☆ 熊本YMCA会員交流会のご案内

3月15日（日）に恒例の会員交流会が行われます。阿蘇YMCAにて飯盒体験やピザ焼き、植樹体験が予定されています。そして、もちろん、牛の丸焼きもあるかも？です。皆様のご参加をぜひよろしくお願ひいたします。

◇◆◇ ワイズ運営メモ スケジュール

月/日 (行事)

2月

18-24日 ミャンマースタディツア（堤）

26日 TOF例会

3月

7-8日 会長・主査研修会（新大阪）

12日 事務例会

15日 YMCA交流会「未来の森づくり」

15日 九州部評議会（阿蘇）

22日 むさしYMCA20周年

24日 熊本連絡会議

26日 EMC例会

28or29 ウエルネス「花見」？（未定）

第26回アジア地域大会

7月31日（金）～8月2日（日）

京都 ウエスティン都ホテル

オフィシャルサイト

<http://aac2015.jp/jp/>

第18回西日本区大会

6月13日（土）・14日（日）

大阪 ハイアットリージェンシー大阪

オフィシャルサイト

<http://jw2015.com/>

【編集後記】

「一月行く、二月逃げる、三月去る」と言われますが、まさに新幹線並みの早さで過ぎていきます。そして、年をとるにつれて加速するようですね。もう次期会長研修会がはじまり、花見の準備もしなければなりません。春の暖かさにそろそろ腰を上げましょうか？

鹿児島クラブ25周年で「本当の西郷隆盛はどのような人物だったか」、征韓論・西南戦争によって造られた西郷像は違うのではないかとの講演がありました。歴史は勝者に依って作られるのかもしれません。

最後に、西郷の言葉を、「命も要らず、名も要らず、官位も要らぬ人は始末に困るものなり。この始末に困る人ならでは艱難を共にして国家の大業を成し得ざるものなり。」
(吉本)

'14-'15 熊本ワイズメンズクラブ 1月事務例会記録 抜粋

日時：1月 8 日(木)19:00～21:00 場所：熊本中央 YMCA ウエルビー
出席：今村 大村 岡崎 木山 統 堤 中川 那須 吉岡(久) 米倉 吉本
岡崎 MNT 野口 MNT (出席 13 名)

【協議事項】

1. 例会

- 1) 2月 TOF 例会 2月 26 日 19～21 時 熊本ホテルキャッスル
司会：大村 食前感謝：未定
卓話：上通 Y で活動しているユースボランティア
- 2) 3月 (EMC) 例会 3月 26 日 19～21 時 熊本ホテルキャッスル
司会：岡崎 食前感謝：未定
卓話：西村内科脳神経外科理事長 西村誠一郎先生
ビジター勧誘の案内チラシを準備する（期限は、2月例会）。
- 3) 4月 (Y サービス) 例会 4月 23 日 19～21 時 熊本ホテルキャッスル
卓話：検討中 司会：柏尾 (案) 食前感謝：未定 Y 職員招待
- 4) 5月例会 5月 28 日 19～21 時 熊本ホテルキャッスル

2. 会計

- ・半年報に基づき後期区費納入済み ・諸献金 目標等の確認と対応
送金は木山 Ys (Y サ, CS, TOF, FF, BF, RBM, YES, 東日本大震災支援)

3. YMCA

中央 Y、名義後援依頼を受け、承認した。

「スポーツの力 未来を担う子どもに夢と希望を！メダリスト講演会」
体操競技 バルセロナメダリスト 相原 豊氏の講演

日時 2015.3.22 (日) 10:00 ~ 13:00

4. ジャガいも 決算 2月例会で報告

昨年度のポニー (10 万) と日韓 (50 万) の経費負担を日韓視覚障がい青少年育成会に要請されており、総額 60 万円 (今回のファンド収益と同額) を支出する。

5. クラブファンド コーヒー他販売 お米は4月以降の収益￥32,200.-

6. ウエルネス (花見など) 担当：統 Ys、ジェーンズ等と打合せ。

7. ブリテン原稿 2/21 (土) 必〆切

8. その他 65周年大邱訪問 4/17 (金) ~ 4/19 (日) 予定

【報告事項】

1. YMCA 1) 國際協力・青少年育成・年末募金 15,150,847 円 2)
YMCAボランティアディ (1/24 (土)) 約 65 名の参加 3) 早天
祈祷会

2. その他

- 1) 九州部評議会 3月 15 日 (日) 阿蘇)
- 2) チャリティーマラソン (4月 26 日 (日)) 益城総合グラウンド

YMCAの歌

若人の あつきいのりは 百年の歴史をつづる
とこしえの のぞみにもえて さかえあり
YMCA われらまた こぞりて起たん



熊本 YMCA の歌

森の都の朝ぼらけ 有明波の凪ぐところ
み神の愛といさおしを 称えて集う若人の
心に響くときの声 目覚めて今ぞ 立ち上がり
YMCA こぞれりここに

目的

ワイズメン、ワイズネットは一個の理想主義者であることが求められています。

それには、何をおいても先ず YMCA に対する奉仕を旨とし、YMCA とのつながりを一層強め深めるための方向づけや活動方針、さらにはそのための具体的プログラムの策定など、クラブがそれぞれの地にあってこれらを実現し、献身奉仕することを心がけなければなりません。

みんなのものが一つとなってワイズダムの"きずな"をより堅く結び、ともども YMCA 運動へ仕えることを願うものです。

- Our Motto -

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

Today's program

2015年2月 26 日 19:00～21:30

熊本ホテルキャッスル

2月 TOF 例会

進行：大村 Ys

開会宣言・点鐘

ワイズソング「いざたて」

会長挨拶

ゲスト紹介

ビジター紹介

Happy birthday & anniversary

食前感謝

(会食) 諸報告

卓話

黒岩 瞳さん(国際交流委員)

犬童博信さん(崇城大薬学部)

章 丹芬さん(熊大院生中国出身)

ニコニコタイム

YMCAの歌 / 熊本YMCAの歌

閉会挨拶・点鐘

先月例会記録 (2014.12.25)

在籍会員	30
出席会員	11
功労会員	1
広義会員	1
マイキャップ	3
出席率	50.0%
ゲスト	
ビジター	
メネット	2
コメット	
例会出席総数	13
BF (ブラザーフッドファンド)	
2014 年度献金 (現金)	45,000
クラブファンド (ニコニコ)	
前月残高	85,658
1月献金	0
1月支出	0
2月残高	85,658